

デザグリエ「実験哲学講義」

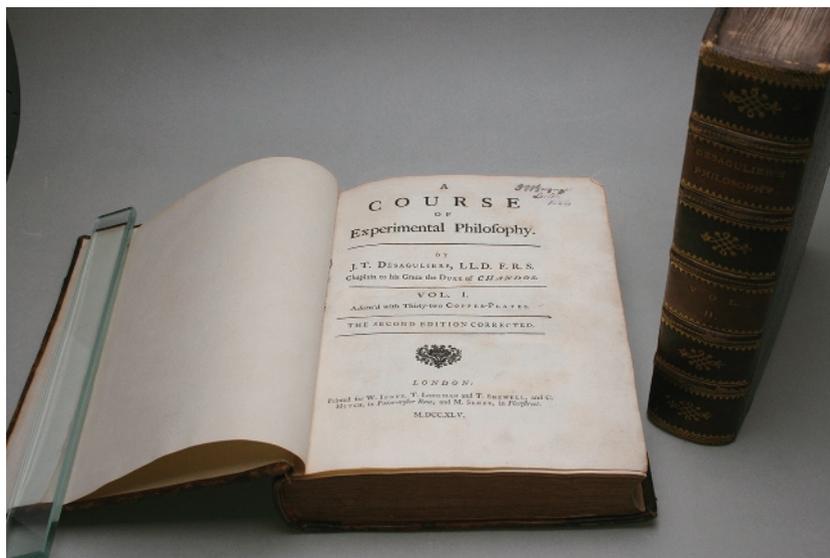


図1. 「実験哲学講義」第1巻(左)、第2巻(右)

第1巻は1745年刊の第2版、第2巻は1744年刊の初版本。

ジョン・T・デザグリエ(1683-1744年)はフランスに生まれ、イギリスの王立協会(当時の会長はニュートン)の会員になった科学者です。一般大衆と科学知識を共有することに喜びを感じていて、在任中、121回も公開実験を行いました。

「実験哲学講義」は、その公開講座をまとめたもので、力学、熱力学、流体力学、静電気、天文学など様々な分野の実験を図版とともに集録しています。



図2. 「実験哲学講義」第1巻の中の挿絵

章ごとに詳細な図版が添えられている。左から、「滑車」「サイクロイド」「熱機関」。

石坂 千春(科学館学芸員)

大阪市立科学館では、化学・物理・天文学・科学技術に関連した資料を収集しています